

みちのくだより 岩手 みちのくだより



旭ボーリング（株）
平塚 康子

天気予報も軒並み氷点下に雪マークと、とうとう本格的な冬の到来だ。

岩手生まれの岩手育ちであるが、この冬の寒さに慣れるということはない。

中学・高校の頃には、親に暖かい所へ引越してはどうかと真剣に掛け合っていたほどだ（全く相手にされなかったが）。

小学校低学年の頃までは、親が止めるのも聞かず、「子供は風の子、元気な子!!」とか何とかいいながら雪の降り積もる外へ飛び出し、かまくらを作ったり、雪合戦をしたりと元気に駆け回っていたはずなのだが。

高校卒業後、岩手を離れて数年間関東で暮らしたが、雪のない冬の何と快適だったことか…。

そこで出会った人たちが持つ岩手のイメージは、「食べ物が美味しい」という声もあったが、悲しいことに「だだっ広い」やら「何もない」などという散々な声が圧倒的だった。私自身、岩手はどんなところか尋ねられた時、何もないつまらないところだと返答していたような気がする。大失敗である。もっと岩手を売り込んでおけば良かったと今頃反省である。しかし当時は本当にそのように思っていたのだ。岩手に来たことがあるという人に対し、思わず「何しに？」と聞いてしまったことさえある…。

地元に戻ったある日、出勤時に朝日に照らされた北上山地を見、帰宅時に夕日に燃える栗駒山脈を見た時はまさにダブルパンチを食らったようだった。岩手って素敵！と思えた瞬間だった。

私の場合、一度地元を離れたからこそ、いつも目の前に広がっていた自然を素晴らしいと感じることが出来たのかもしれない。

今まで地元の自然や文化をみていたつもりでいたが、全然みえてはいなかったのだ。そして、「何もない」と言ってきたのは単に「何も知らない」だけだったのだと思う。

何もないなどと言っていたが勿論そんなことはない。岩手には見所や特産品が盛りだくさんなのだ。

まずは観光スポットであるが

- ・ 何といても世界遺産登録が待ち遠しい平泉の中尊寺
 - ・ NHK朝の連続テレビ小説で有名になった小岩井農場の一本桜と石割桜
 - ・ 第4地底湖の探索が始まった岩泉町の龍泉洞は日本三大鍾乳洞の一つに数えられている
 - ・ 国内外の琥珀や、学術的にも貴重な虫入り琥珀の展示が見られる久慈琥珀博物館
 - ・ 狛鼻溪の舟下りは船頭さんの歌が盛り上がる
 - ・ 海のアルプスといわれる北山崎は国内唯一の特A級で一見の価値ありだ
- その他にも温泉やスキー場など、年中楽しめるスポットが数多くある。

観光の楽しみの一つでもあるグルメや特産品も

- ・ 盛岡三大麺（冷麺、じゃじゃ麺、わんこそば）因みに私は40杯が最高である
- ・ 今や日本一の呼び声高い前沢牛
- ・ 全国ブランドの白金豚（プラチナポーク）
- ・ 三陸の海の幸うに、あわび、ほたて、そしてほや
- ・ 宮古のさんまは毎年目黒まで行っている
- ・ 知る人ぞ知る遠野の生ジンギスカン
- ・ 南部せんべいにかもめの玉子

と、枚挙に暇がない。

やはり、岩手を訪れた人のハートを掴むには美味しい食べ物が一番ではなかろうか。

最近では県外へ出かけることが多かった私だが、今年はまだ行ったことのない県内も巡ってみようと思う。

春になったら…。